

どうぶつどうえんニュース



千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

No.49

2003

秋

シロオリックスの繁殖 (偶蹄目・ウシ科)



7月14日朝、動物公園に新しい仲間が誕生しました。シロオリックスの「ペペ（メス）」です。クランチ（オス）とラザニア（メス）の間に産まれました。産まれた時は体重約7.5kg、体高40cm程度でした。最初、角は生えてなかったのですが、ひと月ほどで6〜7cmまで伸びました。

シロオリックスは、野生ではサハラ砂漠の南縁にわずかに分布しています。「ワシントン条約」(注)の附属書Iに記載されている絶滅の危機に瀕している希少

動物です。大人のシロオリックスは体重180〜200kg、体高110〜125cmほどで、オスメスのどちらにも、後ろへ緩やかにカーブした1m以上の長い角があります。草から水を上手に摂ることができるため、数週間から数ヶ月間も水を飲まずに過ごすことができます。当園では、2001年5月より飼育展示を始めました。

出産後しばらく、お母さんのラザニアは警戒心がとても強く仔のそばを離れようとしませんでした。人が近づくと、鼻を鳴らして角を振り回して怒ります。そんな状態なので、部屋から出すにもひと苦労、部屋へ入れるにもひと苦労。なにしろ、産まれてすぐは仔があまり動き回りません。そして、ペペが動かないとラザニアは全く動いてくれないのですから。

10日ほど経つと、ラザニアがペペから離れている時間が徐々に増えてきました。ペペも足がだいぶんしっかりしてきて、よく動くようになりました。フェンス越しにお父さんのクランチとも顔を付き合わせて、何やら仲が良さそうです。

最近のペペは、部屋から出ると走り回ったり、飛び跳ねたりと、とても元気です。9月から放飼場にも出る予定です。ぜひ、元気なペペの姿を見に動物公園へ遊びに来てください。

(注)「ワシントン条約」＝「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」

加藤 洋子 (Youko Kato)

目次

CONTENTS

表紙【アミメキリン】	①
トピックス【シロオリックスの繁殖】	②
モモタロウ誕生日 3歳記念	③
モンキーゾーン 元気なあかちゃんたち	④
進化したスーパーカー	④
サマースクール	⑤
動物公園の植物⑳【ユーカリノキ】	⑥
健康管理センターから	⑥
動物公園日誌から【'03.5/1〜'03.7/31】	⑦
裏表紙【ホオカザリヅル】	⑧
Information	⑧

表紙の動物説明 アミメキリン

キリンは体の模様などによりいくつかの亜種に分けられ、アミメキリンもそのうちの一つで、アフリカのケニア北部やエチオピア南部のアカシアなどの木がまばらに生えた草原（サバンナ）に生息しています。キリンは陸生の動物の中では一番丈が高く、頭までの高さが5mを越すものもいて、高い視点と視力の良さで数km先も見渡せます。餌のほとんどはアカシアなどの木の葉を食べていて、背の高いオスは首を伸ばしてより高いところの葉を、メスは首を曲げて低いところの葉をと食べ分けているため、採食の姿勢に違いが出て、遠くからでも性別がわかります。

秦 舜二 (Syunji Hata)

動物飼育数

平成15年7月末現在の飼育数

Classified number of animals
as of 31.Jul.2003

哺乳類	64種	421点	両生類	1種	2点
鳥類	81種	319点	魚類	0種	0点
爬虫類	6種	23点	総計	152種	765点



7月3日にモモタロウが3歳の誕生日を迎え、そのプレゼントにケーキが贈られることになりました。ケーキを放飼場に置いた後、関係者やモモタロウファンが見守る中、母親のモモコとモモタロウを放飼場に出しました。2頭は最初、大勢の観衆に驚いたのかケーキの所には行かず、少し心配させましたが、モモコがケーキを食べ始めるとモモタロウも手にとって食べだしました。ケーキの大半はモモコが食べてしまったようですが、モモタロウも満足気でした。

水上 恭男 (Yasuo Mizukami)



＊モンキーゾーン

MONKEY ZONE



元気なあかちゃんたち

昨年末から今年の春にかけて、モンキーゾーンでは、かわいいあかちゃんがいっぱい産まれました。
ぜひ会いにきてください。



カオムラサキラングール

このごろはやんちゃぶり^{ほっき}を発揮
(2002年11月生まれ) 男の子です



パタスザル

産まれたときから長ーいしっぽです
(2003年2月生まれ)



ホンドザル

今年も5頭産まれています
(2003年5月～6月生まれ)



アビシニアコロブス

親は白黒なのに、産まれたばかりは真っ白
(2003年6月生まれ) 女の子です

進化した ズーパークー

Zoo-Park-er

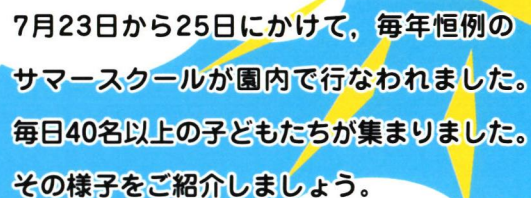
今年3月から7月上旬まで、土日の午後、ズーパークーが「モンキーゾーン」をまわりました。ニホンザルのしぐさ観察、くじびきクイズなど、楽しく過ごしてもらいます。サルたちの飼育係には、動物たちが毎日健康に暮らせる工夫の紹介をしてもらうこともあります。

ズーパークーとは、観察シートやクイズ、標本や模型など、楽しいグッズを乗せてお客様のところをうかがうガイドです。

昨年は「自転車」でしたが、今年は「カート」に進化しました。
並木 美砂子 (Misako Namiki)



サマー
スクール
SUMMER SCHOOL



動物科学館にいるコウモリは、どのような怪かくでしょう!

A、おこり、ばい、短気
B、おくびょう。
C、こわがり

大人の子リンの身長は3mである。○か×か



おんないー!
おんないー!
おんないー!
おんないー!



どうぶつこうえんニュース NO.49 | 5



動物公園の植物…②③

The plants in the Zoological park

ユーカリノキ (Eucalyptus globulus)

ユーカリノキは、フトモモ科ユーカリ属の常緑高木です。ユーカリ属は、400～500種の樹木からなり、そのほとんどがオーストラリアおよびタスマニア島に分布しています。わずかな種類がニューギニアにもあり、そのうち1種は樹高70mに達する高木です。

原産地では樹高45～55m、日本でも20～30mになります。日本には明治始めに入ってきましたが、熱帯性のものから温帯性のもので含め、生長の早い種類は世界各地で造林用に用いられますが、湿潤な日本ではあまり成功していません。

樹皮は灰色で、薄片状に細長くはげ、青灰色のはげ跡が残ります。葉は著しい異型性を示し、若木では長さ約10cmの卵形であり、無柄で対生です。成木では長さ約20cmの披針形、全縁で、やや鎌形に曲がり、柄があり互生します。

花は両性花で、葉えきに花を普通1個つけ、つぼみは径約2cmの、倒円錐形で、上部を合着した萼片と花弁のふたがおおっています。4～5月の開花時にこのふたが脱落し、直径約3.5cmの花で多数の白色のおしべと中央に棒状のめしべを現します。花とほぼ同形のさく果は多数の小さい種子を含んでいます。

動物公園では、草原ゾーン内に植栽しておりますので、一際高く目に付くと思います。

ところで、コアラがユーカリを食べる動物として有名ですが特定の種の葉しか食べないそうですが、なぜかはわかっていないそうです。

材の用途は、建築・枕木・電柱・器具・パルプなど、葉からユーカリ油をとり、薬用・駆虫材・香料に用いられます。

岡澤 薫 (Kaoru Okazawa)



健康管理センターから

From the Animal Health Center

カワウソ様用病院内特別室

病院というのは、悪いことをして世間から逃れたいなどのごく一部の方々を除けば、あまり長居はしたくない所です。動物園の動物病院も同じで、入院にしろ検疫にしろ、あまり長い間はいない、いわば短期滞在型の施設です。

大小いろいろな動物をかわりばんこに収容するため、担当の獣医師は、その治療や検査の他、部屋にも頭を悩ませます。



写真1では、ペットショップでも売っている、ごく普通の犬用ケージにコツメカワウソを検疫収容しています。犬ならばこれでいいのですが、カワウソ

の場合、餌や水を替えようと、前面の扉をあけたとたん光よりも早く（大げさじゃなくホントにそれぐらい素早い！）飛び出して逃げます。



写真2は脱走防止のための内扉を下ろしたところです。カワウソは、狭いよう、と不服そうな顔をしていますが、お掃除の短い時間、我慢してもらいま

す。この内扉は合板と、数種の金具、針金などを使って作りました。カワウソの後（洗浄、消毒後に）他の動物がケージを使用しますので、内扉は着脱可能です。基本のペット用一般ケージに、このように動物種ごとに工夫を加えることが多く、他にはキジ類用の「吊り天井」というものもあります。機会があればご紹介いたしますね。

肝心のコツメカワウソですが、最短で2週間の検疫期間のところ、おなかの中の細菌検査でひっきり、その治療にプラス1週間。その間、麻酔下でのエックス線検査なども経験し、計3週間の滞在を終えてカワウソ舎へ引っ越ししました。

広ーいカワウソ舎の池で、気持ちよさそうに泳いでいます。でも、検疫の期間を共にした私が診に来たことに気がつくと、露骨にイヤな顔をするようにみえるのはなんでだろう？

市川 心一 (Shinichi Ichikawa)



動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'03年5月1日～'03年7月31日

- 5月2日 ワタボウシバンシェ (2頭) 繁殖
アカミミコンゴウインコ 体重測定 実施
- 5月3日 チンチラ (搬入個体) 飼育個体とのペアリング試みる
- 5月5日 ワタボウシバンシェ (5/2繁殖個体) 死亡
- 5月6日 イヌワシ (ヒナ) 1羽確認
アフリカヘラサギ (ヒナ) 2羽確認
- 5月8日 チンチラ (繁殖個体) 肝炎にて死亡
アカミミコンゴウインコ (ヒナ) 巣箱から顔をのぞかせる
- 5月9日 アカハシハジロ (6) 孵化
- 5月11日 ファミリアター 開催



- 5月12日 ブラッザーモンキー (雄1・雌1) 検疫明けにてサル比較舎へ移動
シバヤギ 去勢手術 実施
ゴリラ放飼場内 バンパスグラスを植栽
- 5月14日 カミツキガメ (保護受け中) 所管警察へ移動
ベニバシガモ 抱卵中の卵 ヘビの被害にあう
市内中学校 職場体験実習 3名 受け入れ
- 5月15日 市内中学校 職場体験実習 4名 受け入れ (16日まで)
- 5月17日 シロガオマーモセット (2頭) 繁殖
マンドリル 交尾の確認
イヌワシ (ヒナ) 綿毛の下に茶色の毛混じりようになる
- 5月18日 ゆかいな森の音楽会 開催



- 5月19日 ホンドザル (1頭) 繁殖
アフリカヘラサギ 巣立ちみられる
- 5月20日 ホンドザル 脱毛目立つ個体の隔離 実施
教育研究会理科部会 研修会 実施
アカハシハジロ 収容施設の移動
- 5月22日 関東東北ブロック研究会 高橋出席 (於: 羽村市動物公園)
- 5月24日 フンボルトペンギン (1羽) 孵化
サルゾーン テレビ取材あり
「ワンポイントウォッチング」開催 (キジ類)
- 5月25日 羊の毛刈りと紡毛教室 開催
- 5月26日 ソウ舎ほか 補修工事 実施
動物保護指導センター 2名視察あり
- 5月29日 フンボルトペンギン (1羽) 衰弱にて死亡
ホオカザリツル 産卵あり
- 5月30日 ホオジロオナガガモ (3羽) 孵化
- 6月2日 キングペンギン (1羽) 産卵あり
ホオカザリツル (雌) アフリカ草原放飼場にて展示開始
フラミンゴ池周辺 植栽の剪定 実施
モウコノウマ 興奮気味で展示場内走り回る
- 6月3日 オランウータン 寝室へ収容できず扉オープンにする
- 6月4日 アビシニアコロボス (1頭) 繁殖
カイウサギ (雌) 強制給餌の実施
- 6月7日 ショウガラゴ (1頭) 繁殖
- 6月9日 イヌワシ (ヒナ) 羽ばたき始める
カリフォルニアアシカ (雌) 麻酔施し、裏のプールへ移動実施
- 6月10日 マンドリル 展示とまり木 交換

- 6月12日 ボンテポック (雌) 腹腔内腫瘍にて死亡
- 6月13日 クロオビヒメアオバト (雄) パードホールに移動
- 6月14日 連続講座「人のしあわせ・動物のしあわせ」開催



- 6月16日 コツメカワウソ (雌1) 南房バラダイスより寄贈にて新着
- 6月17日 ウマ (全頭) 日本脳炎 (ワクチン接種) 実施
- 6月18日 マレーバク (雄) 左頬 傷の腫れあり
- 6月19日 シロオリックス (雌) 腹部膨れ目立ち、妊娠の可能性
- 6月20日 スイギュウ舎ほか 塗装工事 実施
- 6月21日 コアジサシシンポジウム 開催
- 6月22日 ホンドザル (1頭) 繁殖
「ワンポイントウォッチング」開催 (アメリカバイソン)
モウコノウマ 交尾の確認
- 6月24日 パタスザル (仔) 親とほぼ同色に成長みられる
- 6月25日 エンペラータマリン (雌1) 日本平動物園より寄贈にて新着
- 6月26日 碁石チャボ (雄1・雌1) 日本平動物園より寄贈にて新着
ビッグミーマーモセット (雌1) 日本平動物園に寄贈にて搬出
シバヤギ (雌1) 日本平動物園に寄贈にて搬出
- 6月27日 アルダブラゾウガメ 夕方、寝室入室済る
- 6月28日 ロバ (仔) 親より隔離展示する
- 6月29日 ホンドザル (2頭) 繁殖
- 6月30日 ホオカザリツル (雄) 草原ゾーンに移動
カリフォルニアアシカ (仔) 体重測定 実施 (32.9kg)
マーモセット類 マイクロチップ埋め込み 実施
- 7月1日 オオカンガルー 追尾行動みられる
モウコノウマ 腰マヒ予防薬 投与
セスジクスクス 爪切りを実施
- 7月3日 ニシローランドゴリラ (雄: モモタロウ)
3歳の誕生会 展示場にて開催
キクココロプス マイクロチップ埋め込み 実施
- 7月6日 フサオマキザル 交尾の確認
- 7月7日 カリフォルニアアシカ (雌1) 動物交換にて搬出
オニオオハシ (1羽) 動物交換にて新着
オオカンガルー (仔) マイクロチップ埋め込み
オオカンガルー (親) 破傷風予防接種 (1回目) 実施
- 7月8日 ビッグミーマーモセット (雌2) 日本モンキーセンターへ動物交換にて搬出
フンボルトペンギン (雄1) 動物交換にて新着
ヘビクイワシ (1羽) 孵化
- 7月9日 クロミミマーモセット 浜松市動物園より寄贈にて新着
ビッグミーマーモセット 日本モンキーセンターより交換にて新着
ウマ (全頭) 削蹄 実施
- 7月10日 コシベニベリカン (雌1) 頸静脈破裂にて死亡
- 7月11日 オシドリ (1羽) 食害被害あり
シロオリックス (雌) 寝室収容後、座り込むことが多い
シロガオマーモセット (雄1) 動物交換にて搬出
- 7月14日 シロオリックス (1頭) 繁殖
- 7月15日 シロオリックス 授乳の確認
- 7月18日 ニホンリス (雄1) 出血性胃腸炎にて死亡
ムフロン 放飼場 金網の交換
- 7月19日 碁石チャボ (雄1・雌1) 検疫明けにて子ども動物園に移動
- 7月20日 アミメキリン 興奮気味で展示場内走り回る
- 7月22日 フンボルトペンギン (雄1) 検疫明けにて子ども動物園に移動
- 7月23日 サマースクール 3日間 実施
1日目 小学3～4年生
2日目 小学3～4年生 (24日)
3日目 小学5～6年生 (25日)
- 7月24日 トナカイ (雄1) 脳内出血にて死亡
- 7月25日 オニオオハシ (1羽) 検疫明けにて動物科学館に移動
- 7月28日 マレーバク 交尾確認
オランウータン 風邪症状を呈す
イヌワシ 展示場植栽の剪定
アルダブラゾウガメ 麻酔下にて腫瘍の切除
- 7月29日 市内中学校 職場訪問 8名 受け入れ
- 7月31日 プタオザル (雌1) 心不全にて死亡
プレーリードッグ (1頭) 繁殖個体を確認
牧野 辰男 (Tatsuo Makino)



ホオカザリヅル



Information

平成15年 9月・10月・11月の 催し物一覧

- ★ 9月13日㊦ 連続講座②「ペット(犬・ねこ)と暮らす」
- ★ 9月21日㊦ 連続講座③「動物からの贈り物」
- ★ 9月28日㊦ ワンポイントウォッチング(オランウータン)
- ★ 10月5日㊦ 初心者向け写真教室
連続講座④「動物の暮らしを撮るとは」
- ★ 10月12日㊦ 折り紙教室
- ★ 10月13日㊦ ゆかいな森の音楽会
- ★ 10月19日㊦ ワンポイントウォッチング(グレビーシマウマ)
- ★ 10月26日㊦ Zooクイズラリー
- ★ 11月9日㊦ ワンポイントウォッチング(コツメカワウソ)
- ★ 11月23日㊦ ワンポイントウォッチング(プレーリードッグ)
- ★ 11月29日㊦ 連続講座⑤「動物の体・人の体」